

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2374900328
法人名	社会福祉法人 愛知三愛福祉会
事業所名	グループホームあいわ
訪問調査日	平成 20年 1月 12日
評価確定日	平成 20年 2月 29日
評価機関名	中部社会福祉第三者評価センター

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月14日

【評価実施概要】

事業所番号	2374900328		
法人名	愛知三愛福祉会		
事業所名	グループホーム あいわ		
所在地 (電話番号)	愛知県日進市米野木町南山987-54 (電話) 0561-75-5641		
評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター		
所在地	愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター3F		
訪問調査日	平成20年1月12日	評価確定日	平成20年2月29日

【情報提供票より】(19年12月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 11月 30日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 7.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(12月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 84.1 歳	最低	70 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛知国際病院・大島歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>開設から5年目となるホームであるが、常勤職員の半数が当初から変わっておらず馴染みの関係が構築されている。ホーム内は明るく落ち着いた雰囲気であり、利用者は安心し、穏やかに過ごしている。管理者や職員は利用者一人ひとりがそれぞれのペースで暮らせるよう、十分な配慮がなされた生活支援に日々取り組まれており、地域との関わりについても法人を通じた取り組みがなされている。今後の取り組みに大いに期待したい。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題については、ホームとして可能な限り取り組まれている。地域との交流など、前回評価での改善課題についての理解はなされており、改善に向けた取り組みが見られる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホームの現状を振り返り、日々のケアについて見直す良い機会となるように、職員の意見反映に取り組まれている。自己評価で見出された改善点については、優先される項目から改善を行っていくとのことであり、今後の取り組みに期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議では、活動状況や行事の報告、意見交換もなされており、ホームへの理解を深められるよう取り組まれている。家族の参加もあり、よい交流機会となっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の意見や苦情など、運営推進会議やホームへの訪問時に積極的に収集されている。家族が意見や苦情が気軽に話せるような雰囲気づくりに努められ、ホームの運営・日々のケアに活かせるよう前向きな取り組みが見られる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会や老人会への参加はないが、法人が開催する行事には積極的に参加することを通じ、地元の住人との交流機会をもたれている。また地域のボランティアの定期的な訪問があり交流を深めるよう取り組まれている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者、一人ひとりがその人らしく暮らしていける様に、法人の掲げる理念を基本とし、ホームの方針を明確にするためにスタッフでの具体的な見直し・検討が行われている。		現在、ホーム独自の理念・方針を掲げられるよう検討中である。外部からの訪問者にもホームの具体的な方針を理解してもらえるよう取組まれている。早期の実現に期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる	ミーティング時には、ホームでの介護の思いを利用者にどう反映させるかが話し合われており、理念や方針が管理者・職員で共有できるよう取組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や老人会などへの参加はなされていないが、ホームの開設時より隣家との交流はなされている。また、定期的なボランティアの訪問があり交流を深めているよう取組まれている。		災害時の対応など、地域の協力は欠かすことの出来ないことであり、日頃からの交流は重要である。積極的に地域の行事に参加するなど、継続した取り組みに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は自己評価・外部評価に対し、その意義をよく理解している。今回の自己評価も職員の意見が反映できるよう努めている。		自己評価・外部評価での改善項目についてはよく検討し、ホームとして出来る事・必要なことについて改善に取り組んでいただきたい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの活動内容の報告や様々な意見交換が行われている。主体法人が地域包括センターとなっており、地域の状況などの情報収集の場もなっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外での定期的な交流機会を持つまでには、至っていない。		市町村担当者との連携に関して、運営推進会議での関わりを更に深めホームの運営、サービスの質の向上に反映できるよう積極的な取り組みに期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には、訪問時に近況報告がなされ、毎月会報も発行されている。会報にはホームの近況や利用者・行事の写真も掲載され一人ひとりの様子が具体的に記載されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や苦情・相談が気軽にできるよう、雰囲気づくりに努めている。ホームへの苦情・相談窓口は明示されており、前向きな取り組みが見られる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は利用者が毎日安心して過ごせるよう、利用者の状態を職員に周知させるために、引継ぎの時間を十分に確保するなど、配慮がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成に関しては、OJTや法人内研修が中心となっている。研修については計画的に行うまでには至っていない。		より良いサービスの提供・質の向上を考えた時、管理者・職員のスキルの向上は不可欠である。法人内・外部の研修や講習への参加、更に資格取得まで視野に入れた計画的な人材育成への取り組みを期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	愛知県グループホーム連絡協議会に加盟されており、交流機会を持てるよう取り組まれているが、様々な要因により十分な活動にまでは至っていない。		相互訪問や情報交換の機会を持ちたいという意思は確認出来た。今後の課題として取り組んでいただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族の見学は随時受け入れられ、納得した上で利用できるよう配慮されている。利用者の生活歴やADL・趣向の把握にも努められており、良好な関係づくりへの取り組みがみられる。		今後も、利用者との良好な関係づくりに向けた取り組みが継続的に行われていくよう期待する。
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員からの一方的な介護の提供にならぬよう、相互が支えあうという関係の構築を目指し取り組んでいる。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常支援の中で、利用者の心身の状態・希望・要望の聞き取りに努めている。訪問当日も、利用者の希望に耳を傾け、職員全員で支援に向けて取り組む姿勢を見ることが出来た。		利用者との良好な関係が構築されている現状を大切に、今後も維持できるよう積極的な取り組みを期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日30分間の申し送り、月1回のミーティングでは職員間で利用者について、サービスについて多岐にわたった話し合い・意見交換がなされ、日々のサービス、介護計画に反映している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は半年に1回のペースで更新されている。日常支援の中での利用者の希望・意向の聞き取り、申し送り・ミーティングで把握した問題点・注意点等をふまえ、利用者本位の介護計画を作成している。		利用者の状態変化に応じた介護計画の随時見直しが、現状ではできているとは言えないという声もあった。利用者の状態の変化に応じた見直しが随時反映されるよう今後も更なる取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人内他事業の特養・デイサービスとの連携を図り、利用者の状態に合わせた適切な支援提供がなされている。また、法人内研修の参加もみられ、知識の向上に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームでは、毎月の定期受診は職員付き添いで行っており、家族へ利用者の状態を報告している。ホームの個別ケアへの取り組みが感じられる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームではターミナルケアは原則として行っていない。職員は利用者の状態把握に努め、利用者・家族との早期話し合い、意向の聞き取りに尽力を注いでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の笑顔・笑い声、職員との歓談の声溢れるホームでは、職員の声掛け・対応の適切さを感じ取ることができる。訪問当日も、利用者のプライバシーを損ねるようなことはなくなら問題は感じられなかった。職員の意識の高さを見ることができた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、利用者の希望・要望に応えようと、日々、臨機応変に支援している。以前に比べ、レクリエーション・散歩等の時間を増やすなど、積極的な取り組みが感じられる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	訪問当日、昼食をご一緒させていただいたが、食卓は職員と利用者の歓談、笑い声で溢れ、終始利用者の笑顔を見ることができた。楽しい雰囲気作りへの配慮を感じることができた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴回数・入浴時間は利用者の希望に合わせ、柔軟に個別対応している。在宅での生活パターンをホームでもできる限り継続できるように、ホーム全体で支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の好きなこと・得意なことを引き出し、楽しみごと・やりがいに繋げている。訪問当日も、昼食後に利用者の歌声を他利用者・職員と共に楽しみ、溢れんばかりの笑顔を見ることができた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買い物、馴染みの理美容院の利用等、外出支援を行っている。週1回は必ず外出していただきたいという、ホーム側の声も聞くことができ、日々の積極的な取り組みが感じられた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は常に全体を見回し、利用の状態把握に努めている。そのため、ホームでは施錠はしておらず、職員の見守り・声かけ等で対応している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人内での避難訓練・消火訓練に参加し、知識・技術の習得・定着に努めている。日常的に緊急災害時について話し合い、災害時に対する備えを固めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	現在、食事摂取量・水分摂取量の把握が必要な利用者はおらず、記録には残していない。食事摂取量等に変化が生じた場合は申し送りし、職員全体で見守り、対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの窓は大きく、光は十分に取り込め、利用者の歓談、笑い声が響くホームは、明るく楽しい雰囲気になっている。利用者が安心して、穏やかに生活できる環境づくりへの配慮を感じることができた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はそれぞれの利用者の生活様式にあわせ、馴染みの家具・写真等の持ち込み、ベッド・布団対応がなされている。利用者の個性を感じる居室が多く、ホームの積極的な取り組みが感じられた。		